

「ブラザーグループ中期環境行動計画 2015」(2011～2015) 2013 年度の目標と実績

自己評価/「○」: 大幅に達成、「◯」: 達成、「-」: 単年度で評価をしない目標と実績、「×」: 未達成

| 重点施策                                    | 中期環境行動計画目標   | 2013 年度目標                 | 2013 年度実績  | 自己評価 |
|---|--|---------------------------|--|------|
| <b>1. 環境配慮製品</b>                        |  |                           |  |      |
| 1-1 各国環境ラベルの積極的な取得と新基準への対応              | (1) ブルーエンジェル、エコマークをはじめとして、エナジースター、ノルディックスワン、EPEAT、中国十輪マークなど、販売拠点の要望に確実な対応を図る。        | 該当全製品に関して環境ラベル取得。         | 達成。  | ○    |
|   | (2) ブルーエンジェル、エコマーク新基準（2012 年以降）にも適合し、継続して取得する。                                       | ブルーエンジェル新基準（UFP）に適合する。    | 新基準適応完了。   | ○    |
| 1-2 製品の省エネ性向上                           | (1) 該当製品はエナジースター、ブルーエンジェル、エコマーク、中国能效、日本のトップランナー基準など、各種省エネ基準に全て適合する。                  | 該当全製品に関して省エネ基準に適合する。      | 達成。  | ○    |
|   | (2) 各々のカテゴリーで業界トップレベルの省エネ性能を達成する。  | 業界トップレベルの省エネ性能を達成する。      | 全てのカテゴリーで達成。   | ○    |
| 1-3 エミッション（TVOC、UFP、騒音など）基準への適合         | (1) 基準に対して十分な余裕を持って適合する。   | 該当全製品に関してエミッション基準に適合する。   | 達成。  | ○    |
|   | (2) ブルーエンジェル新基準、独新法（UFP）などの新基準にも適合する。  | ブルーエンジェル新基準適合。            | 達成。  | ○    |
| 1-4 リサイクル材料の使用率・量の拡大                    | 該当製品全てで、拡大する各種基準に適合する。   | 該当全製品に関して EPEAT 基準に適合する。  | 達成。  | ○    |
| 1-5 リユース・リサイクル性の向上（本体、消耗品とも）            | (1) 消耗品再生事業で再生工数削減のための設計の推進、交換部品の削減・低コスト化を図る。  | インクカートリッジリサイクル率 50%以上を維持。 | 達成。  | ○    |
|   | (2) クローズドマテリアル使用可能部品の拡大を図る。  |                           |  |      |
| 1-6 梱包最適化の推進による物流コスト・CO <sub>2</sub> 削減 | (1) 物流コスト削減のため、梱包最適化と物流で CO <sub>2</sub> 排出量削減を両立する。                                 | 梱包最適化の推進。                 | 2014 年度に継続。  | -    |
|   | (2) 適正材料の選定およびサイズ、重量の削減を推進する。  |                           |  |      |
| <b>2. 事業所の環境負荷削減</b>                    |  |                           |  |      |
| 2-1 グループ全体の CO <sub>2</sub> 排出量削減       | 物流を除き、国内事業所、海外生産拠点、海外販売拠点をグループ全体で総計し、年率 1%の CO <sub>2</sub> 排出量を削減する（売上高原単位比）。       | 2012 年度比 1%削減。            | 2012 年度比 11.0%削減。  | ○    |
| 2-2 国内 8 事業所の CO <sub>2</sub> 排出量削減     | 年率 1%の CO <sub>2</sub> 排出量を削減し、2015 年度の CO <sub>2</sub> 総排出量を 1990 年度比 25%減とする（絶対値）。 | 同上。                       | 猛暑が影響して増加傾向であったが、省エネ活動により 2012 年度と比較して±0%（同値）。2020 年度中期目標（2013 年度目標は、1990 年度比 23.0%）に対する実績は、23.4%となり、目標ライン以下を維持。 | ×    |

|                        |                                       |  |  |   |   |
|------------------------|---------------------------------------|--|--|---|---|
| 2-3                    | 海外生産拠点（USA 除く）の CO <sub>2</sub> 排出量削減 | 年率 1%の CO <sub>2</sub> 排出量を削減する（売上高原単位比）。                          | 同上。  | 主に空調、照明、動力の省エネ活動と、売上回復により、2012 年度比 13.7%削減を達成。<br>2020 年度中期目標（2013 年度目標は、2006 年度比 15%削減）に対する実績は、26.9%となり、7年前倒して目標を達成。 | ◎ |
| 2-4                    | 物流 CO <sub>2</sub> 排出量削減              | 排出量のマネジメント基準を定め、年率 1%の CO <sub>2</sub> 排出量を削減する（原単位比）。             | 物流 CO <sub>2</sub> 排出量削減目標を設定。   | 目標設定完了。   | ○ |
| 2-5                    | 生産拠点での水利用量の削減                         | 2015 年度の水利用量を 2010 年度比で 5%削減する（売上高原単位比）。                           | 単年度の目標設定は無し。   | 2010 年度比 16.1%削減を達成。  | ○ |
| 2-6                    | 海外生産拠点での環境保全活動のグローバルマネジメント            | 生産拠点所在国の環境法規制の順守や、廃棄物の適正処理などをグローバルに管理する体制を構築する。                    | 同上。  | 全生産拠点の生産活動に関わる対象法規制リストと順守状況を確認。   | — |
| 2-7                    | ISO 14001 の取得                         | 新規生産・販売拠点は ISO 14001 を取得する。  | 株式会社エクシングの ISO 14001 取得。   | 販売拠点：5 拠点（株式会社エクシング、他 4 拠点）。  | ○ |
| <b>3. 法規制と社会動向への対応</b> |                                       |  |  |   |   |
| 3-1                    | グローバルな化学物質規制への対応                      | (1) REACH、RoHS、TSCA など、関連する製品含有化学物質規制法に確実に対応する。                    | 製品含有化学物質規制に対応。   | 達成。   | ○ |
|                        |                                       | (2) 製品含有化学物質管理の戦略を立案し、2015 年度に業界トップレベルの水準に到達する。                    | 業界トップレベルの水準に到達する活動。  | 戦略立案を継続。  | — |
| 3-2                    | グローバルな製品省エネ規制への対応                     | ErP、ロシア製品規制、韓国エネルギー法、中国能效、日本省エネ法など、関連する製品省エネ規制法にトップレベルの省エネ性能で対応する。 | 製品省エネ規制に対応。  | 達成。   | ○ |
| 3-3                    | 拡大する製造者責任への対応                         | (1) WEEE/包装材指令などに対応するための当局への提出データの精度を向上させる。                        | 提出データの精度向上に向けて、工場出荷時に製品を計量し、重量変動の確認を継続。  | 提出データの精度向上に向けて、工場出荷時に製品を計量し、重量変動の確認を継続。   | ○ |
|                        |                                       | (2) 製品のクローズドリサイクルシステムをグローバルに構築する。                                  | グローバルなシステムを構築。   | 2014 年度に継続。   | — |
|                        |                                       | (3) 消耗品のリサイクルシステムをグローバルに拡大し、各統括販売拠点への展開を目指す。                       | リサイクルシステムを各統括販売拠点へ展開。  | 同上。   | — |
| 3-4                    | 製品に関する総合的な環境情報の開示                     | (1) グローバルで製品の環境負荷情報を開示する。  | 販社に対し、新製品開示 100%。  | 達成。   | ○ |
|                        |                                       | (2) エコデクラレーション（ECMA370）に沿った製品情報を開示する。                              |  |   |   |
| 3-5                    | 認証紙の採用                                | FSC などの認証紙の採用を推進する。  | 単年度の目標設定は無し。   | 国内販社のカタログで FSC 認証紙の使用開始。  | — |
| 3-6                    | グリーン調達推進                              | (1) お取引先（サプライヤー）への監査や教育を強化し、環境に対する意識を高めて法順守を確実なものとする。              | グリーン調達基準書の改訂、REACH-SVHC 物質追加に関する事前案内の送付などの情報発信、およびお取引先監査を通じ、お取引先とグループ内のグリーン調達に対する意識の向上を図 | 達成。   | ○ |

|                       |                                    |   |  |   |   |
|-----------------------|------------------------------------|---|--|---|---|
|                       |                                    |   | り、法順守を推進する。  |   |   |
|                       |                                    | (2) 包装材原料紙の原産地、違法伐採、リサイクルなどの管理体制を構築する。  | 対象工場でのリサイクル率の把握（5工場）。<br>EU 木材規則の順守。                                 | 対象となる 5 つの工場で、包装材のリサイクル率把握調査を継続。<br>対象包装材ならびに製品の合法性調査を実施し、合法性を確認。 | ○ |
| <b>4. 環境コミュニケーション</b> |                                    |   |  |   |   |
| 4-1                   | マーケティング活動と一体となった「Brother Earth」の展開 | 新製品や新事業での環境配慮、ソーシャルメディアを含めた Web サイトからの環境情報の発信、プラネタリウム「Brother Earth(ブラザーアース)」の PR を通じた環境訴求などを推進する。        | 新製品に搭載される環境技術、環境に配慮した工場の広報。<br>環境スペシャルサイト「brotherearth.com」を通じた情報発信。 | 工作機械業界トップクラスの省エネ「電源回生技術」、工場の環境対応「エコファクトリー」を広報。                    | ○ |
| 4-2                   | 生物多様性保全を中心とした環境社会貢献活動の推進           | 各地域で従業員参加のもと、生物多様性保全のための環境社会貢献活動をグローバルに実施し、その一部を 環境スペシャルサイトのクリック募金対象活動として掲載、ステークホルダーの参加も促す。               | グローバル 22 拠点でお客様、従業員が参加する環境社会貢献活動を継続。                                 | 33 拠点で実施。   | ○ |
| 4-3                   | 従業員の環境意識向上を通じた地球温暖化防止の推進           | ブラザーエコポイント活動をグローバルに推進するとともに、拠点別の環境貢献度の測定も進め、従業員の環境意識を向上させることで、グループ全体の CO <sub>2</sub> 排出量削減目標の着実な達成を実現する。 | ブラザーエコポイント活動参加人数 17,000 人 (2012 年度比 15%増)。                           | ブラザーエコポイント活動参加人数 21,440 名 (2012 年度比 45%増)。                        | ○ |